

様式2（第4関係）

パブリック・コメント制度に基づく意見等募集に係る実施結果票

パブリック・コメントの実施状況	
案件名	島田市新庁舎整備基本計画（案）
案件概要	<p><b>○趣旨</b> 島田市役所周辺整備基本構想で示した整備方針の実現に向け、新庁舎に求められる機能を具体化し、規模や空間構成の方針及び事業計画、運用管理計画の基本的な考えを定めるもので、2019年（平成31年）以降に続く、基本設計、実施設計といった詳細な設計の検討を行なう際に必要な諸条件を示すものです。</p> <p><b>○論点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新庁舎整備の基本的な考え方（第2章2-2新庁舎の機能）</li> <li>・新庁舎の規模（第3章）</li> <li>・新庁舎の空間構成の方針（第4章）</li> <li>・事業計画の検討（第5章）</li> </ul>
募集期間	平成31年3月27日～平成31年4月25日
担当課	行政経営部 資産活用課 庁舎管理担当

パブリック・コメントの結果			
提出状況	1 意見提出者数	8人・団体	
	2 提出された意見数	8件	
反映状況	1 反映した意見	0件	
	2 既に盛り込み済みの意見	0件	
	3 今後の検討課題とする意見	8件	
	4 反映できない意見	0件	
	5 その他	0件	
No.	項目 意見の内容	市の考え方	反映結果
1	<p><b>○環境対応機能（経済的・効率的で環境に配慮した庁舎）について</b> エネルギーのベストミックスを追記していただきたい。 「エネルギーの安定供給」「経済性」「環境保全」の課題を解決するためには、電力、ガス（都市ガス、LPガス）、再生可能エネルギー等をバランスよく最大限に活用したエネルギーシステムとすることが重要だと考えます。</p>	エネルギーのベストミックスにつきまして、新庁舎での省エネ対策及びランニングコストの縮減対策の一環として重要であると認識していることから、今後の基本設計・実施設計の策定過程で検討し、決定していきますので、御	3 今後の検討課題とする意見

	追記のご検討をよろしく申し上げます。	意見はその際の参考とさせていただきます。	
2	<p><b>○木材（地元産材）の利用について</b></p> <p>冬の寒い日に書類のできるのを待つため市庁舎の壁に寄りかかっていたら背中が冷えてぎっくり腰のようになってしまった。 コンクリートや鉄は熱を吸収するので体に良くない。 壁に木材を使用すれば、このように体を冷やすことはなく、夏にはひんやりして体に良い。 しかも、音を吸収するので、ざわつきも防いでくれる。 新庁舎建設に、ぜひ内装は木材を一出来れば無垢の木を利用させていただきたい。</p>	基本計画は今後の新庁舎整備の方針を定めるもので、具体的な構造や設備等につきましては、今後の基本設計・実施設計の策定過程で検討し、決定していきますので、御意見はその際の参考とさせていただきます。	3 今後の検討課題とする意見
	<p>新庁舎建設に当たり、島田市の文化が伝わる建築構造・内装を取り入れてほしい。 どこにでもある様な建物は、誰も見ない。視察してもらえるような、市にとって稼げる建物をお願いしたいです。 島田市民が誇りに思える建築物をお願いします。</p>		
	<p>木材は高いとよく言われるが、昭和30年にコーヒーが30円の時杉が立米2万、桧は3万円であった。昭和60年にはコーヒーが350円、杉が2万、桧は3万円となった。 平成30年にはコーヒーが450円、杉は1万、桧は2万円である。 木材は決して高くはないのである。</p>		
	<p>今回、島田市新庁舎整備基本計画（案）に対しまして少しご意見を述べさせていただきます。 「木材の利用」に関してです。計画（案）の中に木材利用の文言が16ページに2行ほどしか明記しておりません。先日島田市に関する新聞記事で地場の産品ですか、（杉、桧）という言葉を目に致しました。昨今さまざまな方面から地元木材の利用を積極的にという声が上がっているかと思えます。役所としてもそのように考えていらっしゃるかと思えます。新庁舎にどのような形で木材が利用できるか、木材に関して何もしなくても建物はできますし木材を積極利用するということは面倒な作業だと思えます。熟慮しなければならない事柄も数多くあるかと思えます。しかし今新庁舎建設というせっかくのタイミングで行動を起こさない手はないのではと考えます。 今は感じないかもしれませんが、今後数十年この地域大井川流域の水、土地、治山を考えた場合、今適正にこの地域の木材を我々地元の人間が率先して消費し、そのあと植林し、山を整え育てて循環させていくという具体的な行動をとらなければ、重大な事態を招く恐れが実現としてあります。全国的にそれぞれの地元の木材を積極的に消費するという</p>		

<p>動きの意味はそこにあると思います。どうかこの分野に関してすぐにでも行動を起こして頂けたらと考えます。このタイミングで新庁舎で広く市民にアピールする形、シンボリックな形で木材を利用することは今後の木材利用の大きな呼び水になります。将来にわたってもものすごく大きな意味を持たせることになるはずで、計画（案）の中、確実に実行する積極的な木材利用の文言をぜひ盛り込んで頂けたらと思います。</p> <p>この分野の優れた設計士も数多くいらっしゃいます。経験のない方ではコスト面でも木材を使いきれないと思います。（鉄骨造、コンクリート造をそのまま木造に置き換えるからです）優れた有識者を巻き込んで素晴らしい後世に誇れる庁舎を是非創っていただけたらと思います。</p> <p>宜しく願いいたします。</p>		
<p>島田市新庁舎整備基本計画（案）地元で採れる木材を積極的に使用して頂きたい。</p> <p>島田市はかつて木都と呼ばれるほど、林業や製材業が盛んな町で現在でも多くの木材従事者がおります。</p> <p>しかし、現在島田市は林業、製材業のイメージは薄く、島田市民が多く利用される市役所に地元で生産された材料、木材を見てもらい、今一度、地元産業である林業、製材業を市民の皆様に再認識して頂きたい。</p> <p>木材は軽くて強度もある建築材だけでなく、調湿作用もあり、施設の快適度も期待できます。</p> <p>不特定多数の人々が入り出りする施設では、インフルエンザ等の空気感染のリスクが必然と高まります。</p> <p>木造建築物は鉄筋コンクリート木材をほとんど使わない建築物と比べて、インフルエンザの蔓延を抑えられるとも言われ、健康にも寄与することができます。</p> <p>島田市新庁舎整備基本計画にて是非積極的な地元木材を使用し、地元業者に活気をよく願います。</p>		
<p>新庁舎整備基本計画を閲覧してのコメントです。</p> <p>地域木材の使用に関する表現がP16の2行だけで、国、県などが進めている、国産材の使用量拡大に対する意識が低すぎると感じる。</p> <p>構造物も含め、CLT等々の部分使用も少しは検討すべきだと思う。</p> <p>内装の什器等々には、東京都立川市が取り組んだ多摩産材Jパネルによる、議会場、相談室、ベンチ、本棚etc至るまで地域材を使用している例がある。</p> <p>是非とも前向きに、大井川流域産材を新市庁舎に使用する仕様にすべきである。</p>		
<p>今計画中の市役所新庁舎建設に当って、木材の使用箇所がはっきりわかりま</p>		

	<p>せん。</p> <p>ぜひ内装（床、壁、天井）に大井川流域産材の利用をお願いします。内装に木材を使用した部屋とRC造りでクロス、合板等を貼った部屋では風邪やインフルエンザにかかりにくいということが実証されています。特に学校ではインフルエンザによる学級閉鎖率は低く、木材により調湿された室内環境の効果が発揮されていると考えられます。</p> <p>以上の様に、建物はインシャルコストだけでなく、医療費や電気代の低減などの目に見えないランニングコストを考慮して頂きたいです。</p>		
--	--	--	--